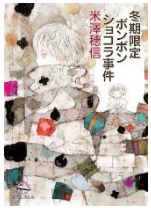


LIBRARY



運動会お疲れ様でした！爽やかな運動会日和でしたね。バトンを受け取り精一杯走る姿って、自分が年をとったせいが見ているだけで感動してしまいます。雨の季節には読書はいかが？2年生が読書会で読んだおススメ本を並べています。ぜひ借りてみてください。

『冬季限定ボンボンショコラ事件』 米澤穂信著 創元社



米澤穂信の小市民シリーズ最新作。4月に78回生のオリエンテーションをした時に、米澤穂信作品を読んだことがある人が1人しかいなくて、小学生には認知度なかったことを知りました。でも中高生には、ぜひ読んでほしい作家さんの一人です。7月にはアニメ化にもなるので、この機会に手に取ってははどうでしょうか？シリーズ第一作で、主人公である二人はこんな風に説明されているのです。「小嶋さんと小佐内さんは、恋愛関係にも依存関係にもないが、互恵関係にある高校一年生。」はて？互恵関係って…と思ったら読んでみてね。

異色の体験型文学教室。著者の奈倉さんは、『夕暮れに夜明けの歌を：文学を探しにロシアに行く』という本が脚光を浴び、今やロシア文学の翻訳者・研究者として活躍中です。文学大学留学中は、ウクライナの人ともロシアの人とも当然親しく会話を交わしていたのに、いまや敵対する国となり、ロシア文学を愛する奈倉さんの胸中は複雑に違いありません。今回出版されたこの本は、まさに現在の状況を背景に、とある大学のロシア文学教室を再現します。中学生にはまだまだ馴染みのない文豪たちの作品が取り上げられますが、機会があったらぜひ手に取って下さい。

『ロシア文学の教室』 奈倉有里著 文春新書 2024



異色の体験型文学教室。著者の奈倉さんは、『夕暮れに夜明けの歌を：文学を探しにロシアに行く』という本が脚光を浴び、今やロシア文学の翻訳者・研究者として活躍中です。文学大学留学中は、ウクライナの人ともロシアの人とも当然親しく会話を交わしていたのに、いまや敵対する国となり、ロシア文学を愛する奈倉さんの胸中は複雑に違いありません。今回出版されたこの本は、まさに現在の状況を背景に、とある大学のロシア文学教室を再現します。中学生にはまだまだ馴染みのない文豪たちの作品が取り上げられますが、機会があったらぜひ手に取って下さい。

この呪文のような言葉は、お店の看板の文字。靴のマイスターである祖父の腕は天下一品。ところが跡継ぎ見習の兄が、突然失踪。妹である夏希の胸の内は複雑。私が継ぐべきか…。ある日、お店の敷地を手に入れたいと2人組がやってくる。高価な靴の一足でも買えば、店主も少し態度を軟化するだろうと注文してみた男は、出来上がった靴の履き心地にすっかり魅了されてしまう。そんなマイスターに弟子入りしたいと現れたのが同級生の宗太。夏希は五代目マイスターの座をそう簡単に奪われたくないのだが…。

『ノックドウライオウ』 佐藤まどか著 あすなろ書房



この呪文のような言葉は、お店の看板の文字。靴のマイスターである祖父の腕は天下一品。ところが跡継ぎ見習の兄が、突然失踪。妹である夏希の胸の内は複雑。私が継ぐべきか…。ある日、お店の敷地を手に入れたいと2人組がやってくる。高価な靴の一足でも買えば、店主も少し態度を軟化するだろうと注文してみた男は、出来上がった靴の履き心地にすっかり魅了されてしまう。そんなマイスターに弟子入りしたいと現れたのが同級生の宗太。夏希は五代目マイスターの座をそう簡単に奪われたくないのだが…。

時は1940年、第二次世界大戦の真っ只中、まだ歳、11歳、9歳の3きょうだいは、親がわりだった祖母を亡くす。遺産はあっても、しかるべき後見人を見つけないと手をつけることもできない。そこで祖母の弁護士の提案を受け、3人はロンドンを離れ学童疎開に参加した。疎開先に彼らを受け入れてくれる良い人がいるかもしれないと期待したのだ。しかし現実は厳しかった！でも、その村には図書館があったのだ。彼らの心に火を灯すたくさんの物語との出会いがそこに。(2021年NY公共図書館ベストブックオブイヤー)

『図書館がくれた宝物』 ケイト・アルバス著 徳間書店



時は1940年、第二次世界大戦の真っ只中、まだ歳、11歳、9歳の3きょうだいは、親がわりだった祖母を亡くす。遺産はあっても、しかるべき後見人を見つけないと手をつけることもできない。そこで祖母の弁護士の提案を受け、3人はロンドンを離れ学童疎開に参加した。疎開先に彼らを受け入れてくれる良い人がいるかもしれないと期待したのだ。しかし現実は厳しかった！でも、その村には図書館があったのだ。彼らの心に火を灯すたくさんの物語との出会いがそこに。(2021年NY公共図書館ベストブックオブイヤー)

時は1940年、第二次世界大戦の真っ只中、まだ歳、11歳、9歳の3きょうだいは、親がわりだった祖母を亡くす。遺産はあっても、しかるべき後見人を見つけないと手をつけることもできない。そこで祖母の弁護士の提案を受け、3人はロンドンを離れ学童疎開に参加した。疎開先に彼らを受け入れてくれる良い人がいるかもしれないと期待したのだ。しかし現実は厳しかった！でも、その村には図書館があったのだ。彼らの心に火を灯すたくさんの物語との出会いがそこに。(2021年NY公共図書館ベストブックオブイヤー)

『まんがでわかるだましの手口』 佐藤正明著 東京新聞 2023



オレオレ詐欺に始まり、騙されて何らかの被害を被った話はあとを絶ちません。まずは信用させ、油断をさせる。あるいは人の弱みに付け込む。どうやら手口もどんどん巧妙になっているらしい。悪質商法4コマ事例集と銘打った一冊。今や子どももスマホを持つ時代。だからこそ、騙されないための知識が必要ですね。

「まさか私が被害にあうとは…」「あんなにいい人だったのに…」「…ちょっとおかしいとは思っていたのだけどねえ」騙された人から返ってくる言葉はこの3つに集約されるそうですよ。

『スマホアプリはなぜ無料』 中野京子著 光文社新書 2017



今やスマホの所有率は、中学生は7割を超えてきているとか。家庭の方針や経済的理由によって持たない人も当然いますが、中学生にとってスマホが身近な時代です。当然中学生をターゲットにしたスマホアプリもどんどん開発されています。アプリの多くがなぜ無料なのか、その仕組みを解説してくれる1冊。無料の裏側を知られば世の中のしくみもわかる。「マーケティング思考」を解説。

『私の職場はサバンナです！』 太田ゆか著 河出書房新社



幼い頃から動物が大好きだった著者は、将来は獣医に…と思っていたが、理数系が苦手な断念。でも将来は動物を守るため環境保護の分野で働いたら…と漠然と思いつけ、大学では観光学部で学ぶ。そして大学2年生との時、一度は野生動物の王国アフリカへ行きたいという夢を実現。ボツワナ共和国での「サバンナ保全ボランティアプロジェクト」に参加。これが著者の運命を大きく変えることに。どうやってやりたい仕事に辿り着いたのでしょうか？

幼い頃から動物が大好きだった著者は、将来は獣医に…と思っていたが、理数系が苦手な断念。でも将来は動物を守るため環境保護の分野で働いたら…と漠然と思いつけ、大学では観光学部で学ぶ。そして大学2年生との時、一度は野生動物の王国アフリカへ行きたいという夢を実現。ボツワナ共和国での「サバンナ保全ボランティアプロジェクト」に参加。これが著者の運命を大きく変えることに。どうやってやりたい仕事に辿り着いたのでしょうか？

『怪物に出会った日』 森合正範著 講談社 2024



ボクシングには興味のない人でも、「井上尚弥」という名前は聞いたことがあるでしょう。「日本ボクシング史上最高傑作」と評され、「モンスター」と呼ばれるほどの強さを誇る井上。東京新聞運動部の記者である著者が、井上に敗れた11人のボクサーを訪ね、敗者の口から語られる井上像を伝えることで、その人物

を浮き彫りにしようとしたもの。考えてみれば酷なインタビューだ。けれど、読み進めれば、敗者の人生もまた語られるべきものだったと思いついた。ミズノスポーツライター賞最優秀賞受賞作品。

『バンクシー』 ファウスト・ジルベルティ著 パルコ出版 2024



正体不明の覆面アーティスト、バンクシーを絵本にしたのは、イタリアのアーティストです。皆さんも名前を聞いたことがあるのでは？誰かの所有物である壁に勝手に絵を描く、有名美術館に勝手に絵を飾る、オークションで手に入れた絵が目の前で断裁…それらは皆バンクシーの仕業。いったいどういう人なのか？この絵本を読んでも、もちろん正体はわからない。でも、壁の落書きも、時に世の中を大きく変えるきっかけになるのかもしれない。死んでから美術館に飾られるようなアーティストになりたいわけじゃない…のですね。

5月にはいった本の一部です。リクエストは常時受け付けています。

登録番号	NDC	書名	著者名1	出版者
039681	104	水中の哲学者たち	永井玲衣	晶文社
039671	159	ころのおそうじ。	たかたまさひろ	大和書房
039684	220	池上彰の若い読者のためのアジア現代史	池上彰	あすなる書房
039660	361	統計はこうしてウソをつく	J・ベスト	白揚社
039674	383	「和食と日本人」おもしろ雑学	武田権太郎 著	大和書房
039685	392	地図でスツと頭に入る世界の軍事情勢	斎木伸生 監修	昭文社
039689	417	10歳からのデータリテラシー	本丸諒	くもん出版
039715	421	心は量子で語れるか	R・ペンローズ	講談社
039688	675	パッケージデザインのひみつ	パッケージデザイン	グラフィック社
039661	760	生活はクラシック音楽でできている	渋谷ゆう子 著	笠間書院
039646	913	そして誰かがいなくなる	下村敦史	中央公論新社
039649	〃	僕たちの幸せな記憶喪失	春田モカ	スターツ出版
039650	〃	ファラオの密室	白川尚史	宝島社
039634	〃	夜明けのはざま	町田そのこ	ポプラ社
039700	〃	私立探検家学園 3,4	斉藤倫 著	福音館書店
039659	〃	TRUE Colors	小林深雪他	講談社
039605	〃	水車小屋のネネ	津村記久子	毎日新聞出版
039699	〃	小説映画 なのに、千輝くんが甘すぎる。	亜南くじら原作	講談社
039647	〃	数学の女王	伏尾美紀	講談社

こんなことやってます！



76回生社会 ディベート



歴史の授業で、3つのテーマにわかれディベートを行いました。①「明治時代の急激な近代化政策は日本にとって必要不可欠だった」②「大日本帝国の対外戦争や植民地支配は必要不可欠だった」③「日本の対米開戦は避けることのできないものだった」いずれも肯定派・否定派に別れて資料を調べ、お互いの主張を作っていました。ディベート当日も3クラスで見学してもらいましたが、どのクラスも見ごたえ、聞きごたえがありました。さすが3年生ですね。

6月のブックカフェのお知らせ

6月10日(月)「世中で一番文房具にうるさい渡邊先生による文房具会議」



渡邊先生のイチオシ文房具を持参でお話して下さる予定です。文房具大好き!という世中生は、気軽に参加してください。特に申し込みは必要ありません。3年生の終礼終了後開始予定です。

6月12日(水)「9.11テロから23年 住山一貞さんをお迎えして」

時間 14:15 ~ 15:45

世中の34回生だった杉山(旧姓住山)陽一さんは、2001年当時、富士銀行のNY支店に勤務していて、9.11のテロの犠牲となりました。お父様の一貞さんは、その後遺族として何度もNYを訪れ、さらには2022年英文の『9.11レポート』を日本語に訳して出版。続いて『9.11の真実を求めて』という本も出版されました。昨年この2冊を寄贈に見えた縁で、今回のブックカフェが実現しました。なんと住山さんは世中の4回生なのです。当日は校長先生も参加されます。ぜひ興味関心のある世中生の参加をお待ちしています。(申し込みはカウンターまたは図書委員へ)



6月19日(水)『ここはすべての夜明けまえ』ミニ読書会

時間 14:20 ~ 15:20

今年3月、早川書房から1冊の本が出版されました。それが『ここはすべての夜明けまえ』です。ハヤカワSFコンテスト特別賞を受賞したこの作品、審査委員長をはじめ早川書房が熱い想いを込めて出版。ぜひ、何の先入観もいれずにこの本を読んでほしいと、出版まで宣伝も控えたそうです。

今回は初の試みとして、早川書房から3人の社員の方が来てくれて、ミニ読書会を3年生図書委員を中心にいきます。読書会って何か気になるなあ、参加してみてもいいかな…と思った方は、カウンター村上または図書委員まで声をかけてください。5冊本を早川書房からお借りしています。全部読まなくても読書会参加は可能です。終了後、著者とオンラインで話せるかも!です。

77回生国語 小さな読書会



教科書で「アイスプラネット」を学んだあとに、好きな日本文学を読んで、ミニ読書会をしました。授業時間では読み終わらなかった人も多かったため、返却期限をのばし、現在返ってきた本は帯をつけ、中身に合わせてフェイスマークのついたしおりが挟んであります。読んでみませんか?